

県民局長訪問

■ 日時：平成24年6月11日(月)～平成24年7月5日(木)

県下の各県民局長を会長、副会長、地域理事が訪問しました。災害時の設備機能復旧応援にかかる協定を当協会と兵庫県の間で締結しておりますことを県民局長に認識して頂き、災害対策地方本部が設置されたときには連携を深めることや「建設工事入札参加者に係る資格格付要領」に基づく加点点事業として県民局で行われる事業に貢献していく考えなど連携を深める協議を行いました。



6月11日(月) 10:30～
阪神南県民局訪問(尼崎市)



6月15日(金) 10:00～
中播磨県民局訪問(姫路市)



6月15日(金) 13:00～
西播磨県民局訪問(上郡町)



6月21日(木) 14:30～
淡路民局訪問(洲本市)



6月28日(木) 10:00～
阪神北県民局訪問(宝塚市)



6月28日(木) 13:00～
丹波県民局訪問(丹波市)



7月4日(水) 11:00～
東播磨県民局訪問(加古川市)



7月4日(水) 15:00～
北播磨県民局訪問(加東市)



7月5日(木) 13:30～
但馬県民局訪問(豊岡市)

ゆ和【会員ご報告】2012年7月 No.007

ゆ和

Air-Conditioning & Plumbing Contractors Association of Hyogo

【会員ご報告】2012年 7月 No.007



第37回 通常総会

■ 日時：平成24年5月22日(火)午後3時30分～
■ 場所：ホテルオークラ神戸1階 松風の間

総会では、平成23年度事業報告・決算報告、平成24年度事業計画・収支予算及び役員(専務理事)改選が議案どおり可決されました。また、同日、平成24年度協会実践スローガンが決議されました。

【感謝状贈呈】 平岡秀文様 伊丹産業設備(株)／橋本白民様 日新工業(株)／須藤 亨様 三神工業(株)

■ 会長総会挨拶

本日、平成24年度の第37回通常総会を開催いたしましたところ、たくさんの方々にご出席を賜り、本当に有難うございます。当協会は4月1日をもって、一般社団法人となりました。今後は一般社団法人としてさらに公益性を持った活動をし、皆様と共に歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なんとか社会から必要とされる協会としての運営をしていかなければならないという決意の下、私が当協会の会長に就任して、早くも5年が過ぎようとしています。まず、私はさらなる社会貢献をやっていこうと考えました。そして、お陰様で会員の皆様にも社会貢献の意識が芽生えたことを本当に有り難く感じます。また、内外からも皆様の意識を評価されているように思います。そして、行政との意見交換会を行い、特に、シナリオのない意見交換会を新しく始めました。それにより行政からの情報を得つつ、当協会の意図するところもお願いをして参りました。ある意味ではその活動が評価され、行政からも認められてきたのだと思います。今後は協会として情報公開をしていこうと思ひ、ホームページのリニューアルもいたしますので、是非、ホームページを活用してほしいと思ひます。

特に、私自身は協働と交流をもって社会に認められるような協会運営というものを進めていきたいと思ひます。是非とも、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。平成24年度協会実践スローガンにも、「直接発注」を強くアピールすることを掲げています。これまでは私たちの仕事は「管工事」とされてきましたが、新たな業種として、「空調衛生工事」または「機械設備一式工事」という業種科目を増やすことを国交省で検討いただいていると聞いています。これが決定すれば、ユーザーに環境問題、節電、省エネなどについてしっかりとアピールでき、ビジネスチャンスを得ることができ

ますので、これに期待したいと思ひます。そんな中で、皆様のお力を借りながら、当協会を一般社団法人としてしっかりと運営していきたいと思ひますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



感謝状贈呈(写真左より)平岡秀文様 橋本白民様 須藤 亨様

☆注1：<http://www.hyogo-kuei.or.jp/> 新着情報は毎月更新します。
☆注2：協会ホームページの活動・行事「第37回通常総会の結果」の議案参照

お知らせ ■ 平成24年度 安全衛生大会

工事現場における労働安全、従業員の安全衛生・健康管理等の維持増進を目的とした「安全衛生大会」を下記のとおり開催します。

■ 日時：平成24年10月23日(火) 14:00(予定) ■ 場所：ラッセホール(神戸市中央区中山手通4-10-8)

入札参加の加点点対象事業ですので多数のご参加をお願いします。今年も労働安全衛生標語を募集する予定ですので、ふるってご応募ください。応募要領は後日ご案内いたします。

■ ホームページをリニューアルしました

「新着情報」「活動・行事」などは毎月更新していますので、ご覧ください。

協会事務局 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 5-8-14 山手ダイヤハイツ206号 TEL：078-341-0991 (協会 H.P.)<http://www.hyogo-kuei.or.jp/>

ゆ和【会員ご報告】2012年7月 NO.007 / 発行日：平成24年7月 / 発行者：一般社団法人 兵庫県空調衛生工業協会 広報委員会 / 企画・編集：(株)プランニングオフィス・トライ

午後5時より、井戸敏三知事、顧問の方々を始め、多数のご来賓にご出席賜り、同ホテル1F平安の間にて懇親会を開催。会場各所で、親しく談笑する人々の輪が広がりました。

● 知事祝辞

井戸 敏三 兵庫県知事

4月から一般社団法人として新発足されました兵庫県空調衛生工業協会が初の定期総会を無事終えられて、新スタートをお切りになり、益々のご発展をまずお祈りさせていただきたいと思います。併せて、来賓としてもたくさんご招待いただき、お礼を申し上げます。

空調が必要となりますマンションの建設がようやくいよいよ戻って参りました。平成23年度は前年比で26%、戸数で6000戸でございます。大阪12000戸、京都1700戸という規模です。首都圏はかなり好調で3割以上です。しかし、一時期に比べると、復調傾向であることは間違いございません。また、この夏はかなりの節電をしなくてはなりません。需給ギャップで一昨年の夏のピーク時に比べて、15%節電しなければ今年の夏を乗り越えられないという話があります。エアコンの設定温度を上げると、1度ごとに2%程度の節電といわれています。そうすると、エアコン自身の性能を省エネ型、節電型にもっと改良していただき、基準を作っても整備を怠らないと、なかなか省エネ型節電型は普及していかないのではないかと考えられます。今年の夏を乗り切るには緊急事態宣言を発して、事業所と各家庭のエアコン、パソコンを切っただき、追加的に、企業に自家発電を回してもらうなどを緊急対策としてお願いしなければいけないのではないかと思います。昨年の10%削減以上に何をするか、緊急事態にどうするか、の2点を明確にしながら、しかも、どうやって実行してもらえるか、ということを進めていく必要があります。

建設投資のボリュームとしては、昨年度と同水準を確保させていただきました。特に、病院については尼崎と塚口の統合病院の設計に入りますし、その後、子ども病院の移転に入ります。



☆注3：仲睦まじくハイ、チーズ! … 実は親子です。

県民の健康に対する不安感を払拭するために、病院は計画的な整備をしたいと考えております。公共事業が支えていける時代は去りましたが、公共事業の果たすべき役割も自覚をして対応していきたいと思っております。ヨーロッパの財政金融危機を見ていると、東京だけが豊かになり、地方が寂れているという日本の現状と同じだと思っております。歯車を逆に戻すには、地方にも分配がされるような構造にしていかなければいけないと考えています。

最後になりましたが、神田会長以下、協会の皆様がそれぞれのご健勝と益々のご発展を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。おめでとうございます。

ちょっと一息…

協会事務局 ご紹介

専務理事 八木 俊明

よろしくお願いします。

兵庫県では本庁の企画部、企業庁、出先機関では東京事務所、但馬県民局、西播磨県民局、淡路県民局など幅広い地域で仕事をさせていただきました。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。



監事 上杉 輝之

先日「孤高のメス」という映画を見ました。そのシーンの中に「六然」の言葉が出てまいりましたが、引き続き協会事務局で「有事 断然 無事 澄然」の心でお役に立てればと思っております。よろしくお願いします。

事務員 井上 広美

いつも元気! と笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。



右から八木専務理事、井上事務員、上杉監事

TOTO(株) 見学会

■ 日時：平成24年6月27日(水)
■ 場所：TOTO(株) 滋賀工場

技術委員会・環境委員会共催により、この4月に完成されたTOTO(株)滋賀新工場(西棟)の見学会を、6月27日(水)協会会員32名の参加にて行いました。

特に見学が行われた新工場は、生産工程から製品にいたるまで、環境と人に配慮された施設となっており、環境面では省エネ窓の導入と廃熱利用、成形・乾燥工程の新空調導入、機器の間欠運転・インバータ化等を行い、従来工場のCO2排出量40%(5770t/年)の削減を行っています。また、広い外壁は全てハイドロテクカラーコートが施され光触媒効果により

NOx分解を行う空気浄化も行われていました。作業面では徹底した安全第一を重視し、多くの工程でのロボット化により、陶器を持ちあげさせない等、人にやさしい生産ラインと、熟練工技術をロボット化に取り入れ安定した高品質の確保を実現されていました。

また、工場のハード面だけでなく、従業員の方、皆さんが私ども見学者にすれ違う度に明るく笑顔で挨拶をしていただき、大変すがすがしい雰囲気の中、人的にもモチベーションの高さを感じられました。このことが更に製品の品質向上につながっている事が計り知れ、企業経営の参考にも思いました。



記念撮影



田辺工場長挨拶



製造工程説明



便器脱形状況



便器乾燥室



便器自動倉庫